

小田急沿線のライフスタイル提案型プロジェクト  
**複合施設 node uehara(ノード ウエハラ) オープン**  
 第一弾は「食と住」の複合施設、今春、代々木上原に開業予定

2015年2月吉日

UDS株式会社

「代々木VILLAGE」や「キッザニア東京」を手がけたUDS株式会社（本社：東京都渋谷区 / 社長：中川 敬文、以下「UDS」）と小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 / 社長：山木 利満）は、小田急線代々木上原駅前に、商業施設と住居が一体となったコンパクト複合施設「node uehara（ノード ウエハラ）」を、2015年春にオープンします。



※イメージ

【小田急沿線のライフスタイル提案型プロジェクト 始動】

小田急線は、新宿・町田といった大規模商業地を始め、世田谷地区など良質な住宅地から日本有数の観光資源を持つ箱根・湘南につながるダイナミックで変化に富んだ沿線です。その沿線各地域の特色から暮らしの物語をつむぎ、これからの豊かで愛着のある住まいを提案するプロジェクト、それが小田急のライフスタイル提案型プロジェクトです。小田急電鉄株式会社では、お客さまの住まい方の「多様化」や、新しい「働き方」、「集う」・「つながること」へのニーズの高まりなど、多様化した「ライフスタイル」へのソリューションとして当該プロジェクトを進めてまいります。

【第一弾「node uehara」のプロジェクトテーマは「食+住」】

第一弾となる代々木上原エリアは、近年「食」の街として話題となっており、駅前にて、食への関心が高く、日々の暮らしにこだわりを持つ人々へ、「つくること・たべること・つながること」が可能なコンパクト複合施設「node uehara（ノード ウエハラ）」を2015年春にオープンします。

本施設は、商業施設と住居が一体となっており、地下1階と地上1階には、こだわりの食材を活かしたグリルレストランやグロスアリーショップ&カフェを予定しています。また、地上2階から4階までは、単身世帯やDINKS世帯、SOHOとしても利用可能な賃貸住宅となり、「食+住」が一体となった複合施設となります。またイベント等を開催し、代々木上原の街の魅力を定期的に発信していきます。この施設のオープンにより、代々木上原では「食」をキーワードとして地域性をつながり大切にされた都心での豊かな暮らし方を提案します。

※nodeとは結び目、中心点、交点、結節点という意味で、「つながり」を表しています。

## プロジェクト概要

施設名	node uehara (ノード ウエハラ)
開業日	2015年春
用途/規模	住居 (9戸) 商業施設 (1階46席/地下1階40席)
所在地	東京都渋谷区西原3丁目11-5、11-11
事業主	小田急電鉄株式会社
施設規模	敷地面積308.34㎡、建築面積179.71㎡、延床面積812.84㎡
構造	鉄筋コンクリート造
企画プロデュース	UDS株式会社
建築設計/インテリアデザイン	UDS株式会社
運営	UDS株式会社

---

## 会社概要

名称	UDS株式会社
所在地	東京都渋谷区代々木1-27-16 JECビル4F
URL	<a href="http://www.uds-net.co.jp/">http://www.uds-net.co.jp/</a>
設立	2009年2月26日
代表取締役社長	中川 敬文

---

## お問合せ

UDS株式会社 広報担当：宮原・長谷川  
MAIL：info@uds-net.co.jp  
TEL：03-3372-0231 / FAX：03-3372-0235